



ツツ

12 月号
No.189



遊び物コーナー(町民文化祭より)
最近見掛けないパチンコ・お手玉・パッチなど
たくさんの遊び物にチビっ子たちは大喜び。

人口と世帯

世帯数	1,410	(-8)
人口	5,416人	(-21)
男	2,708人	(-10)
女	2,708人	(-11)

昭和61年10月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

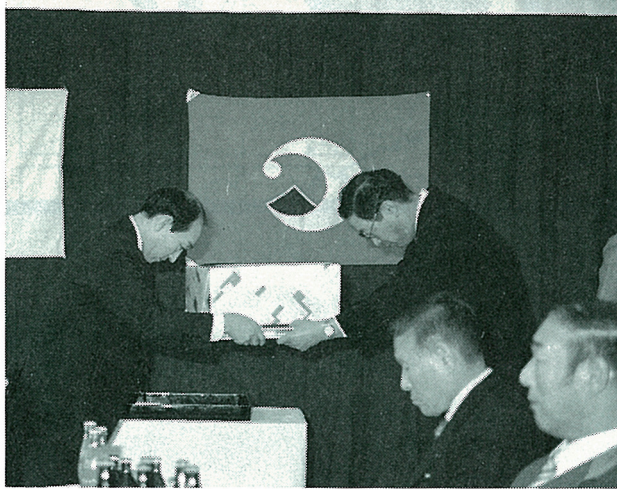
おもな内容

- 2~3...受賞おめでとうございます
- 4.....文化の香り高く61年町民文化祭
- 5.....第7回定例会一般質問
- 6.....まちの話題
- 7.....なにかとあわただしい年の暮
くれぐれも用心、火の用心
- 8.....あなたと保健室
- 9.....りしりの博物誌
- 10~11...おしらせ
- 12.....戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録12月1日現在1903日

昭和61年度 利尻町 功善 勞者 表彰式

町功勞者・善行者をたたえる



受賞おめでとうございませう

郷土利尻の町づくりに貢献してきた方々をたたえる六十二年利尻町功勞者・善行者の表彰式が、十一月三日老人福祉センターで行われました。
この表彰は、利尻町表彰条例に基づき、永年にわたる功績に対し行うもので、本年は、功勞者十二名（内再表彰六名）・善行者一名が受賞されました。

功勞者 再表彰

●昭和三十七年利尻町議会議員に当選以来二十四年間町勢の振興・地方自治の発展に尽くされた。

- 牧野 吉太郎氏
- 惣 万惣 市氏
- 原 崎 竹 治氏
- 加藤 孝三郎氏
- 西 島 松 雄氏
- 菅 原 馨氏

●昭和三十六年以来二十五年間利尻町国民健康保険運営協議会委員として、地方自治の振興発展に尽くされた。

功 勞 者

●利尻町議会議員として十二年間以上町勢の振興・地方自治の発展に尽くされた。

- 不破 保氏
- 町 村 幸 司氏
- 岡 山 勇氏
- 越 智 力氏
- 岩 島 秀 夫氏
- 菊 池 清 七氏

善 行 者

●永年にわたり保護司として社会環境の浄化に貢献された。

- 中川原 操さん



原 崎 竹 治氏



惣 万惣 市氏



牧 野 吉太郎氏



菅原 馨氏



西島松雄氏



加藤孝三郎氏



岡山 勇氏



町村 幸司氏



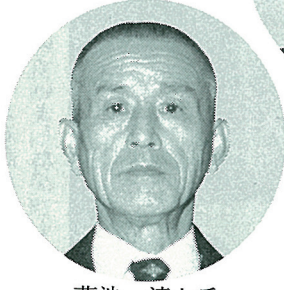
不破 保氏



越智 力氏



中川原 操さん



菊池 清七氏



岩島 秀夫氏

勲六等瑞宝章《秋の叙勲》

寺山 義一さん

沓形字栄浜

沓形市街地大火が
思い出に残る

昭和十二年から昭和五十四年までの四十三年間の永きにわたる、地域消防活動の功績に対して授与されました。

利尻町消防団

第二分団副団長

昭和五十四年退職



利尻町文化賞受賞

清水 章延さん

沓形字緑町

清水章延氏は、昭和四十八年四月利尻町文化協会発足と同時に会長に就任、過去十九回にわたり町民文化祭の実行委員会会長として、高い文化の町づくりのための芸術・文化の振興・普及につとめてきました。



文化の香り高く



61年度利尻町文化祭



利尻町における文化活動の発表の場である町民文化祭が十一月三日文化展示会を皮切りに、茶席、町内囲碁大会、俳句大会と、それぞれの会場で開催されました。

文化展示会では、日ごろから丹精こめて作られた自慢の作品、古い写真などが訪れた人々の目をひいていました。

俳句

金島俳句大会 作品集より

- 水使ふ音絶ゆるなし秋深む
沓形 志摩 (索洋)
- 三平汁終ひの地として喉通す
沓形 金田 (一波)
- 弥陀佛の豊なる耳朶秋日さし
沓形 片瀬 (翠江)
- 大根干す島に余生の生活守り
沓形 清水 (章延)
- 秋の夜や匂を生甲斐の片手妻
沓形 清水さやか (伊代)



第7回定例会 一般質問

議会だより

このたび開かれた第七回定例町議会において、次の一般質問がありました。その質問の要旨は次のとおりです。

質問

一、役場庁舎等建設促進委員会委員の任命時期と、仙法志にある公民館及び支所を解体、或いは全く別な観点からでも仙法志地区の総合集会所的なものの建設予定はあるか。あるとすれば、その規模及び建設予定年をお伺いいたします。

二、観光産業振興の

対策について
近年、特に北指向型観光客が増え、又この先十年や二十年増え続けるものと思われま

我利尻町としても観光産業の振興活性化をし、礼文町、東利尻町には地の利から来るところの大きな差、水をあげられてい

る現在であります。この秋にこそ利尻町独自の中期的な展望にたった振興計画を樹立しては如何と思ひます。宿泊施設、各種イベント、そして町内は勿論、道内外関係者、特に、旅行者

との懇談、要望意見等を取りまとめ、又観光開発専門家の意見、方向付け等を求め、何んとしても早急に滞在型観光客の入り込みを多くしたいものと考えます。

稚内、沓形航路を実現し、各種漁業の衰退からくる過疎のナグレ現象をここでくい止め、町民に希望を持たせ、町民の民生活をうながし、住民の就労及び収入の場を作る努力が、いよいよ必要と思ひます。町長は今まで前

町長に引続き旺盛な意欲を持って議会と共に取り組んできた、沿岸漁業振興対策事業におとらぬ、観光産業振興対策事業を改めて強力に推進すべきと思うが、町長の具体的お考えをお伺ひいたします。

答弁

只今のご質問にお答え致します。

役場庁舎等の建設促進委員会委員の任命時期につきましては十月中に任命したいと思っております。任命につきましては仙法志地域の議員さんについて配慮したいと考えております。

建設につきましては、昭和六十三年度に建設したいと考えており、基本的には現在の公民館を解体してと思ひますが、位置につきましては促進委員会の皆さん、また議員の皆さんとともに検討していきたいと思ひます。

二点目の質問ですが、確かに地の利からくる格差はありますが、それゆえに利尻町は他の町より余計な努力をしなければならぬわけではあります。

宿泊施設については前にも申し上げましたように、旅館の皆さんに集まっていたら、少なくとも貸切バスのお客さんが一つの施設に収容できるような拡張ができないものかというよう

な呼びかけをしたことがござい

ますが、二ヶ月ないし三ヶ月の観光では採算がとれないということで、断念した経緯があります。

それから国民宿舎を増築するようになりますと、三億や四億かかります。そして赤字にもなるだろうと思ひますので、現在検討はさせております。仮りに赤字になったとしても、町内商店などへの波及効果なども考えれば、直ちにやらないということにはならないと思ひますので、今後とも検討してまいりたいと思ひます。

航空路については、稚内空港のジェット化に備えまして、利尻空港へのYS機の乗り入れ可能な滑走路の延長などの陳情も現在やっております。

港湾整備については、三千トン級フェリーの接岸可能な港づくりも現在やっております。来年完成の予定でございます。

以上のようなことを踏まえまして、町内の観光関係者の意見を聞く懇話会のようなものを今後早急に持ちたいと考えております。その中で、町がやる部分

或いは民間がやる部分、そういったものの区分が出てくるのではないかと思ひつており、今後とも積極的に進めてまいりたいと考えています。

議会を傍聴しましょう

町づくりを審議する議会はどなたでも傍聴することができます。

お気軽においで下さい。

利尻島国保中央病院

石川雅彦先生 (外科医長)

阿部昌彦先生 (内科医長)

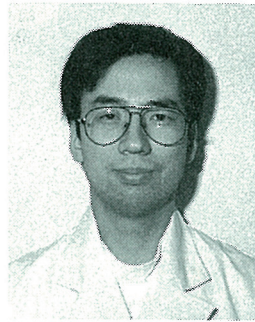
着 任



まちの話題

紹介 外科医長

石川 雅彦



この度、利尻島国保中央病院の外科に勤務することになりました石川雅彦です。十月一日より勤務しております。昨年の五月に一週間、出張で参りました

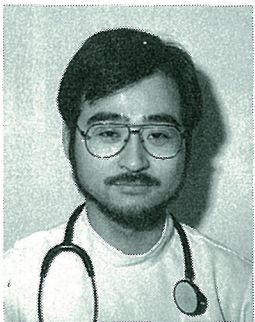
が今度はこの新病院で、目標をもって医療に従事出来ること嬉しく、やりがいのある事と思っ

ている反面、非常に大きな責任を感じております。北守先生、阿部先生とは同じ大学で、気心も知れておりますし、とても働き易い職場なので、職員が皆で協力して、色々な面

り腰、膝、肩など運動器の痛みを慢性的に訴える患者さんが多いので、温熱療法等リハビリも含めて長期的に診ていきたいと考えています。また、乳癌検診、直腸癌検診等も力をいれていきたいと思っておりますので、乳房にしこりを触れたり、便に血が混じったりする方はぜひ、お気軽に受診していただきたいと思っております。日常診療にもようやく慣れてきたこのごろですが、これからもひとつひとつ頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。私事で恐縮ですが、私はこういった趣味もなく、景色のよい静かな所で昼寝をするのが大好きなのですが、これからは早くは寒くて、そうもいきませないので、雄大な利尻富士を仰ぎ見ることで満足しようと思っております。

紹介 内科医長

阿部 昌彦



皆さんはじめまして。この度利尻島国保中央病院内科医長として赴任してまいりました阿部昌彦です。

利尻島の医療に我々自治医大出身の医師が携わらせて頂くようになつて六年程の年月がたち

ましたがこの間皆様方の御理解と協力を持ちまして我々の目標である地域包括医療サービスの芽が育ちつつあるように思えます。丁度このように大切な時期に赴任しまして大きな責任感と働きがいを感じております。

未だ若輩ではありますが地域医療を実践するために内科医としての研修の他に一般医、循環器内科のトレーニングをしてま

いりました。お年寄りからお子さんまで健康のことで心配事がありましたらどうぞ御気軽に相談に来て下さい。幸い当院には第一次病院としては非常に恵まれた医療機器と、日頃の各種健診活動で集積されつつある島民の健康情報がございますので地域に密着した病院として保健医療サービスを行う事が出来ると思っております。

私事ですが趣味は魚釣りで、着任以来何度か出かけ、下手ながらも自然の豊富な島ならではの豪快な釣りを楽しんでおります。今年の夏に一度来島したおりに夜釣り行つたのが島での最初の釣りでしたが、仰ぎ見る満天の星々と黒々と浮かび上がった利尻岳が非常に印象的でした。

前院長の林先生は釣りに関しても多大な業績を残していかれたので、私も仕事のみならずこの点についても頑張ろうと思

っています。

なにがとあわただしい年の暮 くれぐれも用心、火の用心!!

●これからは、忘年会など酒を飲むことが多くなります。

●酒を飲んだの寝タバコ、あなたの「家」を「命」をうばいます。



- ストーブの上や回りに洗濯物、乾していませんか。
- ポータブル石油ストーブの給油、火を消してからしてですか。
- ガスコンロ、使っている時、そばを離れていませんか。



- 石炭の取り灰、タバコの吹いながら、消えたのをたしかめて、捨ててますか。
- ちよっとした注意が、あなたの家を、家族を、火事から守ります。

あわてないで!! 火事と救急は...



げんきななかまが

“火のようじん!!”

声をそろえてよびかける



↑秋の火災予防運動中の10月21日、利尻町少年消防クラブ員51名が2班にわかれ、町内の夜回りをおこない、火の用心を呼び掛けました。

おかあさんも がんばってます!!



←沓形婦人防火クラブのおかあさんが、等身大の人形を使い、心臓マッサージや人工呼吸(心肺蘇生法)の訓練をしました。

カメラ スケッチ



かわいいちびっこが
煙の中をひなん



↑沓形保育所のちびっこが発煙筒の煙の中を本番さながらの訓練をしました。

健康な毎日を送るために

あなたと保健室



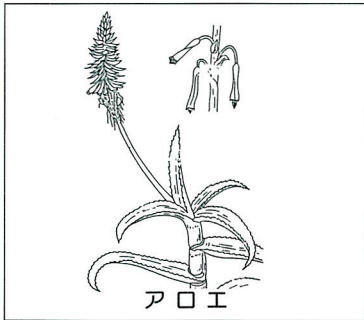
身近な薬草・薬木 ②

先月号から特集として、「薬草」についてお話ししています。

◎アロエ(ユリ科)◎

皆さんよくご存じのアロエ。一般にアロエと呼ばれて家庭などに植えられているのは、茎が立ちあがって木質化するキダチカイが多いようです。専門家が薬用として用いるのは、フェロックス、アフリカーナ、スピカータなどの品種で、それらの葉から液汁をしぼり、とろ火で煮つめて乾かしたものです。これは作用が激しく、続けて用いると骨盤内の臓器に充血をおこすこともあります。

使い方(キダチロカイ)



○おでき、切り傷、軽いやけどには、生葉を切りひらくかすりつぶして、ゼリー状になったらものを患部につけておき、乾いたら新しいものと取り替えます。
○胃のもたれや痛みには、生葉を細かくきざむかすりおろして、盃に1/2量ぐらい飲むとよいでしょう。
○便秘には、前記の要領で、量を少し増やして飲むとよいでしょう。

◎ウド(ウコギ科)◎

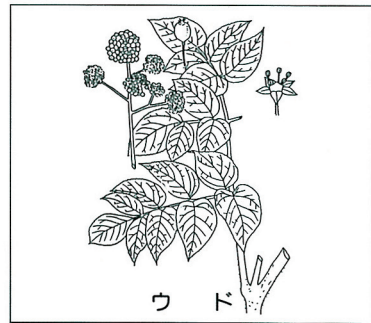
薬用には、茎葉と根を用います。10〜11月頃、根茎を採集して陰干にし、半ば乾いたころ湯につけ土や細根を除き日干しにします。これを「和独活(ワドツカツ)」と呼び、中国産の独活(セリ科のシシウドの根)の代用として漢方薬に用いられています。

使い方

○かぜの発汗、解熱(熱くだし)には、和独活を刻んで、1日量5〜10gをコップ3杯の水で半量になるまで煮つめ、カスを除き、これを食間3回に分けて飲むと、汗をだして熱を下げるのに役立ちます。(食間とは食事と食事の間のことです)
○神経痛、頭痛、リウマチの痛み等も前記のように煮だした液を飲むと痛みをやわらげるのによいでしょう。

○疲れ、腰痛、肩こりには、秋に茎葉を根ぎわで刈りとり、刻んで陰干しにしたものを2〜3

握り、浴湯料に用います。

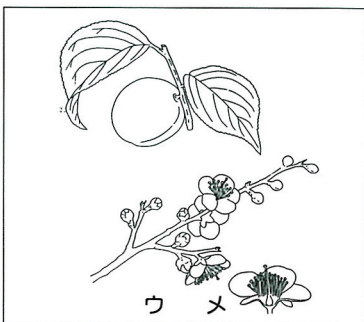


◎ウメ(バラ科)◎

中国原産の落葉高木で、早春の訪れを告げる花としてよく知られています。6月から、未熟果の皮を除き、煤煙の中でいぶして乾かしたものが漢方薬の烏梅(うばい)で、整腸、解熱、駆虫などの目的で処方に配剤されています。民間では烏梅のかわりに梅干しを用いるとよいでしょう。

使い方

○かぜの初期には、梅干しをアルミホイルに包んでストープやガス台のわきにおくか、あるいは



はフライパンにふたをするなどして蒸し焼きにします。これを1〜2個湯呑茶わんに入れ熱湯を注ぎ、よくかきまぜて飲み寝ると、熱をさげてせきを鎮めるのに役立ちます。
○歯が痛む時は、前記の梅干しの蒸し焼きを患部にすりつけておきます。歯科医にかかるまでの応急処置によいでしょう。
○とげ抜き、軽いひょうそう、切傷には、梅干しの肉をつぶしてガーゼにのばし、患部に貼っておくとトゲが抜け、そのあとで化膿して痛むような時にもよく、はれをひかせ、痛みを鎮めるのに役立ちます。



(45)

利尻の語り(6)

樺太出稼

語り 中村豊三郎

樺太(現サハリン)と日本は歴史的にとっても深いつながりがあります。

利尻島では、明治時代から鯨の不漁年には多くの人たちが鯨やコンブの出稼に出むいていました。

樺太出稼のようすを、大正・昭和と樺太に出稼にいった古老に語ってもらいました。「ワシがはじめて樺太にいったのは、たしか兵隊から帰ってきてからだったから、大正十二年頃だなあ。鯨がなくて、不景気だったんで、出稼にいったんだ。」

ワシは、若い時、島で人足してたから、大泊にも解で二〜三年いった。それからね、こんどは西海岸に渡ったんだ。コンブとりに、

蘭泊へいった。たしか大正の終り頃から昭和にかけてだった。コンブとりは、お互いに話し合

って腕のいいやつばかり二〜三人で組んでいくんだとも、ワシらは、吉田島太郎・秋田谷浅吉の三人でいった。

はじめ、なにもわからないから島のコンブと同じだと思っただけだったんだ。そうして、捻ってあげて干したとき、そうしたら赤くなるんだもの、コンブが。赤くなるということ

は荒れて薄いやつなんだ。ところが、コンブをみれば幅が広く長いんだ。島のコンブとちがうからとってみたんだけど、そんなんだからゼンコにならないんだ。

ってなんで聞いたら、コンブにトツカリみたい模様があるやつだっていうんで、コンブを

みたら確かにあった。それから、はなるたけそのトツカリコンブをとるようになったのさ。

それから、いちばん最初に西海岸にいった年の越年に島へ帰らないで、山へ造材にはいったんだ。トンナイキシ沢のずっと奥に入って、人夫のなかにはいつて二間丸太なんかの積み出しをやったんだ。

親方が、トツカリコンブとれっていうので、トツカリコンブと

m以上も下にさがるんだが、穴に入ってみると、大きなスガがぶらさがってるんだ。

ある時、下からあがってくるトロツコを平地に敷いてある線路に移すために、チエーンのピン切りの監督をやったんだ。

それで、朝鮮人がちようどその仕事をやってたんだが、ピンの切り方が遅かったらどうな、アイゴー アイゴーって叫ぶ声がするんで、いつてみたらトロツコの下になってるんだ。

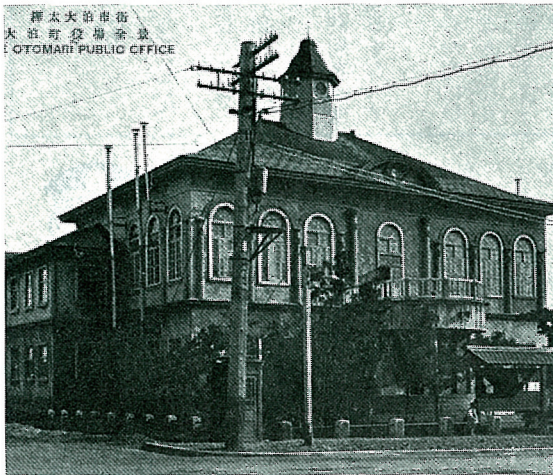
はじめ、アイゴー アイゴー っていうてもなんのことかわからなかったけど、いつてみたらトロツコの下になってるんだもの。すぐに救護所へ連れていったんだが、あとで、アイゴーってなんだって聞いたら、日本語で、助けてくれっていうことなんかもな。

まあ、朝鮮人は少なかったけど、

ほとんど日本人が働いていた。炭鉱はおつかなかったから、ズリ出しをやらせてもらったんだけど、まあ、樺太は景気がいいということと、越年に島にいてもなにもすることがないんで、いつてみたけど、炭鉱は一年でやめてしまった。

中村豊三郎さん
明治三十一年十二月仙法志で生まれる。

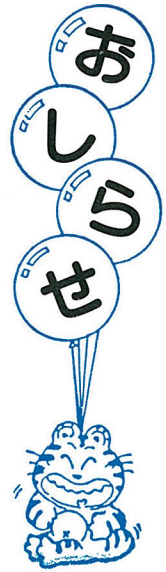
利尻町立博物館学芸員



樺太大泊市街
大泊町役場
OTOMARI PUBLIC OFFICE



新入学児童をもつ 父母の皆さんへ



教育委員会では、昭和六十二年に町内小学校へ入学する児童の学齢簿を、昭和六十一年十月一日現在で次のとおり作成しました。

つきましては、該当児童をおもちの家庭で、氏名もれ、誤字等がありましたら教育委員会（四一二四五）へお問い合わせ下さい。

なお、入学される児童は昭和五十五年四月二日から昭和五十六年四月一日までに生まれた方です。

■沓形小学校

石川	善宗	善藏	泉町
菊地	信幸	貞敏	神居
佐藤	亮	悟昇	緑町
谷口	亮	昇	富士見町
松枝	俊介	正敏	緑町
佐藤兼太郎	敏夫	敏夫	神居
氏名	保護者	住所	

■新湊小学校

川口 美香 健司 栄 浜

■仙法志小学校

島野	史恵	一輝	本町
寺下	早織	美夫	本町
浜田	透	吉夫	本町
石垣	仁	信子	本町
川口	美香	健司	栄
川口	美香	健司	栄

寺嶋	柴田	今野	齊藤	菊池	長谷川	遠藤	渡辺	堀	南部	荒川	村上	柴田	新谷	小坂	平田	三上	川代
明日香	千恵美	恵理	ちづる	望美	志織	知恵美	歩	美由紀	幸枝	寿行	清隆	大介	浩明	勝敏	弘二	薫	峰
秀	茂	順	順	一	修	忠	志	清	清	輝	英	政	正	浩	喜		
明	男	誠	悦	本	日	日	泉	泉	泉	日	泉	神	日	神	本	富	日
日出	町	町	居	町	出	出	町	町	町	出	出	居	出	居	町	野	出

北海道(地域包括)最低賃金 改正のお知らせ

道内のすべての事業場で働く労働者に適用される北海道地方最低賃金（地域包括最低賃金）が、10月1日より次のとおり改正されました。

最低賃金額	時間	給
1日	1時間	
3,439円	430円	

確かめよう!! 最低賃金



●最低賃金周知旬間●
11月21日～30日

冬期間における不燃ゴミの

投棄場所について

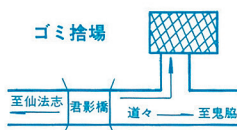
夏期間、種富町に投棄場所を設けておりました不燃ゴミは、冬期間は積雪のため、車の運行が困難になりますので、次の場所に変更になりました。

◎冬期間指定場所

仙法志字元村一六六番地

◎期 期

61年12月20日から
62年3月31日まで



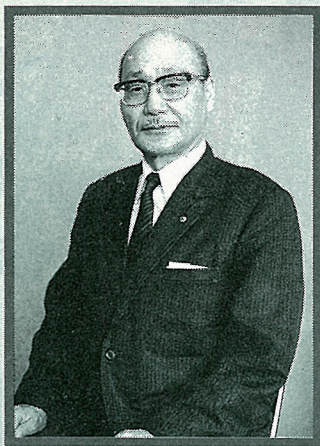
一、贈答品は郵便小包で

十二月は、お歳暮などの贈答品を送る機会が多くなりますが、これからは海が荒れ、定期船の欠航が多くなります。お早めにお出しください。包装はしっかりとしてください。包装はしっかりと

二、年賀状で年始のご挨拶を

お正月に年賀状を交換する麗しい習わしは、近年ますます盛んになってまいりました。大量に差し出される年賀状を

小田桐清実氏(80歳)の急逝を悼む



れました。享年八十八歳でした。

小田桐氏は青森県出身で北海道庁職員から激動する昭和三十七年推されて利尻町長に当選して以来昭和五十三年に退職されるまで四期十六

元利尻町長小田桐清実氏は、十一月二十日午前一時、札幌市内の病院で脳梗塞のため急逝さ

代の利尻町は町を二分する激動期にあつたにもかかわらず、豊富な経験と卓越した手腕と力量を発揮し人心の融和に努め町民の和と団結に心血を注がれ見事に信頼を回復しました。また昭和三十九年五月の沓形市街大火後の復興に尽力された功績等は、特筆大書すべきものがあります。氏は、宗谷町村会長・北海道離島振興協議会長をはじめ数多くの要職を歴任するかたわら文

筆活動を続ける等巾広い活躍をされました。高潔英邁にして情誼に厚く、温厚を持って人に接し、誠実にして責任感が強く卓抜した指導力は衆目の等しく認めるところで町民の信望は極めて厚いものがありました。葬儀は、十一月二十一日石狩町でしめやかに執行されました。町民皆様と共にありし日を偲びはるかにご冥福をお祈り申し上げます。(小田桐ひさ殿 住所 石狩郡石狩町花川南九条三丁目一六五)

み出て他の小包を汚したりすることがあります。せっかくの贈物を台なしにしないよう、生ものは厚めの防水性の袋に入れたうえ、丈夫な箱に納め、固定し、外装はひもでしっかりとしばってください。「生もの、こわれ物」はお差出しの際お申し出ください。

年賀状の受付は、十二月十五日から始まります。年末押し迫ってからお出しになる方もありますがそのため折角の元旦配達に間に合わなくなつたという例もありますので、お早めにご準備いただき、なるべく十二月二十日までお出しください。

元旦にお届けできるよう万全の準備をしております。親しい方への年始のご挨拶とまちがいないくお届けできるようお早めにご準備ください。年賀状の受付は、十二月十五日から始まります。年末押し迫ってからお出しになる方もありますがそのため折角の元旦配達に間に合わなくなつたという例もありますので、お早めにご準備いただき、なるべく十二月二十日までお出しください。

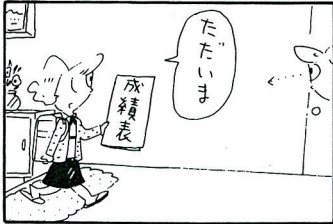
年賀状に私製はがきや年賀はがき以外のはがきをお使いになる方は、年賀状として区別できるように表面に「年賀」と朱書してください。この表示がないと一般の郵便物と同じ処理をしてしまい、年内に配達されてしまうおそれがあります。

郵便番号もお忘れなく

大量の郵便物をスムーズに処理するため、郵便番号による区分けの方法を行っています。記入わくの中に正しくはつきりと記入してください。ご協力をお願いします。

かぶか

西村 宗



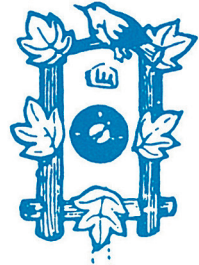
発行 利尻町役場

編集 住民課広報交通安全係 ☎(四)二三四五番

◎出生
 月日住所 氏名 保護者 続柄
 %₂₈本町 小山田麻美 正藏二女
 %₂泉町 成田えりか 納二女
 %₂₂本町(仙)町村 将俊 孝俊二男



お誕生おめでとう
ごぎいます



戸籍のうたぎ

いつまでも
お幸せに

自10月1日
至10月31日

◎婚姻
 氏名 住所
 川端 美治 %₂新 湊
 小笠原志信 %₂新 湊
 中山 信勝 %₇神 居
 岩垣三四子 %₇神 居
 工藤 玲 %₀政 泊
 石岡 明美 %₀政 泊
 鎌田 秀勝 %₃日出町
 本江ひとみ %₃日出町

おくやみ

申し上げます

◎死亡
 月日住所 氏名 年齢
 %₀種富町 後藤ヨシノ 七四歳
 %₀長 浜 川端 ハル 七五歳
 %₀神 居 片岡 ツ子 六八歳
 %₁新 湊 濱岸 榮松 八八歳

ご厚情に感謝します

このたび次の方から愛情銀行に金一封が預託されましたので紙上を借りてお礼申し上げます。

仙法志字元村 竹島武雄様から病氣見舞返しを廃して

杓形字本町 水橋敏三様から病氣見舞返しを廃して

仙法志字元村 中川俊治様から病氣見舞返しを廃して

杓形字種富町 後藤吉春様から妻ヨシノ様の香典返しを廃して

仙法志字長浜 川端鍋太郎様から妻ハル様の香典返しを廃して

仙法志字元村 佐孝友義様から妻かほる様の病氣見舞返しを廃して

仙法志字御崎 田原昭太郎様から母はつ枝様の病氣見舞返しを廃して

仙法志字政治 三益元蔵様から病氣見舞返しを廃して

杓形字新湊 浜岸 正様から父栄松様の香典返しを廃して

(利尻町社会福祉協議会)

工業統計調査 石油等消費構造統計調査にご協力を

通商産業省では、工業統計調査および石油等消費構造統計調査を毎年12月31日現在で実施しています。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。調査の内容は、統計以外の目的に使われることは決してありませんので、安心してご協力くださるよう、よろしくお願い致します。

